

リハビリテーション科専門医研修ネットワークプログラム

1. はじめに

リハビリテーション科専門医（リハ科専門医）とは病気や外傷の結果生じる障害を医学的に診断治療し、機能回復と社会復帰を総合的に提供することを専門としています。その目的は身体的、心理的、社会・職業的に最大のレベルまで到達させることであり、最終的には患者のQOL(生活の質)を高めることです。

しかしながら、全国的にもリハ科専門医の絶対数が少ないことは大きな問題となっています。実際、静岡県内の地域各病院の先生からは、リハ科専門医の派遣要望が非常にあるのですが、残念ながら需要に見合った供給ができていないのが現状です。さらに新しく始まる新専門医制度の基本領域に専門医に入ることが決まり、その重要性は周知の事実となりました。そこで新専門医の導入も見据え、地域からの要望に答えるべく、一刻も早く体系だったプログラムに基づくリハ科専門医の養成が急がれます。

このプログラムは、静岡県内の病院のニーズにお答えすることはもちろん、患者さんにとっても大変有益となるような、リハ科専門医の養成を目的に作成されました。若い先生方の積極的なプログラムへの参加を希望してやみません。

浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション科 病院教授 美津島 隆

2. 目的

このプログラムの目的は、浜松医科大学附属病院および静岡県内の教育関連施設において臨床経験を積み、リハ科専門医の資格を取得することです。そのために脳疾患、脊髄疾患、骨関節疾患、小児疾患、神経筋疾患、切断、呼吸・循環器疾患、その他悪性腫瘍などのリハビリ診療が経験できる臨床研修プログラムとなっています。

3. 目標

将来的にリハ科専門医を目指す若手医師を対象として、静岡県内の病院にリハ科専門医を適材適所に配置するのが目標です。我々は静岡県内の地域医療に貢献する質の高いリハ科専門医の養成に主眼をおいています。

4. 特徴

当科の後期研修プログラムは、昨年の専門医認定機構の施設調査において研

修施設として十分な機能を備えているとして高い評価を得ました。リハ科専門医取得のための研修先も十分にあり、充実した研修が受けられることを保証します。

5 . 研修カリキュラム

原則として後期研修 1 年目は当科で、2 年目以降は、基本的には病棟のある病院で、リハビリ科医師として全身管理やリハビリの指導方法などを学び、幅広い症例に対応できるリハビリ科医師を養成します。特に患者数の多い整形外科疾患、脳血管障害などについては、他科との交流を含めて、重点的に勉強します。また、臨床研究者の育成のために、研究活動に力を入れ学位取得をめざします。

	研修先	研修内容	目標
1 年次	浜松医科大学病院 関連研修施設	リハビリ科の固有床の担当。 さらに他科の脳卒中、整形外科疾患(切断、脊損など含む)呼吸循環器、神経筋疾患、悪性腫瘍、術後の患者の管理、リハビリ。	リハビリ科の医師として必要な基本的診療技術や技能を習得する。地域の中核としての大学病院のリハビリ科の役割を理解する。
2 年次	関連研修施設	教育関連施設において脳卒中、整形外科疾患(切断、脊損など含む)呼吸循環器、神経筋疾患、悪性腫瘍、術後の患者の管理、リハビリを担当し、知識を深め、幅広い経験を積む。	実践的なリハビリの診療技術の習得。平行して臨床基礎研究を行い、学会発表、論文作成、義肢装具等適合判定医の資格を取得。専門医の取得、身体障害者福祉法 15 条指定医の取得。
3 年次			

6 . 研修例

1年目	2年目		3年目	
通年	期間（前半）	期間（後半）	期間（前半）	期間（後半）
浜松医科大学病院 リハ科	急性期	回復期	小児など	脊髄損傷
	回復期	小児など	脊髄損傷など	急性期

1年目		2年目		3年目	
期間（前半）	期間（後半）	通年		期間（前半）	期間（後半）
浜松医科大学 病院リハ科	小児など	回復期	急性期	脊髄損傷など	浜松医科大学 病院リハ科
		急性期	回復期		

7. 研修病院群（順不同）

1) 浜松医科大学附属病院リハビリテーション科

所在地 浜松市東区半田山 1-20-1

電話 053-435-2111(代)

特定機能病院、日本医療機構評価認定病院、地域周産母子センター、地域災害拠点病院（基幹災害拠点病院）、エイズ治療拠点病院（エイズ治療ブロック拠点病院）、難病医療拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、静岡県肝疾患診療連携拠点病院・治療拠点医療機関、静岡県 DMART 指定病院の指定

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料

運動期リハビリテーション料

呼吸器リハビリテーション料

心大血管疾患リハビリテーション料

がん疾患リハビリテーション料

リハビリテーション科病床数： 無床

紹介

当院は 613 床を有する大学病院であり、主に急性期リハビリテーションを中心にを行っています。また特定機能病院の指定を受けているため静岡県内をはじめ周辺の県から、症例が送られて来ており、およそリハビリテーションに関わるほとんどの疾患を経験できます。整形外科、脳神経外科、神経内科はもちろんの事、耳鼻科、外科、形成外科といった診療科とも連携して、全人的な医療、リハビリテーションを行っています。

2) 聖隷三方原病院リハビリテーション科

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷三方原病院

所在地 〒433-8511 静岡県浜松市北区三方原町 3453

電話 053-436-1251

疾患別リハビリテーション料施設基準

心大血管疾患リハビリテーション料(1)

脳血管疾患等リハビリテーション料(1)

運動器リハビリテーション料(1)

呼吸器リハビリテーション料(1)

がん患者リハビリテーション料

紹介

平均在院日数約 14 日の超急性期病院ですが、30 年以上前からリハビリテーシ

オン科医が活躍しリハビリテーションベッドを有する総合病院という特色を持っています。結核やホスピス病棟など慢性期医療も提供している全国でも極めて特色のある病院です。浜松市リハビリテーション病院とも連絡が密であり、患者のやりとりも多いです。

3) 浜松労災病院リハビリテーション科

〒430-0802 静岡県浜松市東区東区将監町 25

TEL 053-462-1211 FAX 053-465-4380

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料

運動期リハビリテーション料

呼吸器リハビリテーション料

紹介

浜松労災病院は、新病院が 2010 年 11 月に竣工し、東海地震に備えてマグニチュード 8.1 にも耐えられる免震構造の 6 階建となりました。

リハビリテーション科はこの最上階に位置し、天気のいい日には富士山を眺めることもできる訓練室で、地域の基幹・急性期病院における急性期リハビリテーション治療を実施しています。症例は、脳血管障害、外傷性脳損傷、神経・筋疾患、末梢神経障害、骨関節疾患、切断、褥瘡、摂食・嚥下障害、呼吸・循環器疾患、老年疾患、その他の内部障害など多岐にわたります。

政策医療である勤労者医療にも力をいれており、産業医活動、職場(現職)復帰支援、職場訪問、特定保健指導など多くの部分をリハビリテーション科が担っています。

当院では、初期研修で修得した基本的な臨床能力をベースとして、リハビリテーション科専門医として必要とされる診療技術や知識が得られるとともに、地域医療を通して臨床能力を更に向上させることができます。

4) JA 厚生連遠州病院リハビリテーション科

〒430-0929 静岡県浜松市中区中央 1-1-1

TEL 053-453-1111 FAX 053-401-0081

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料

運動期リハビリテーション料

呼吸器リハビリテーション科

紹介

遠州病院リハビリテーション科では回復期病床を中心に、急性期病床のリハビリテーション処方と、外来診療を行っています。

リハビリテーション科医師は回復期患者の主治医として医学管理、リハ処方、投薬等行います。しかし、当院は一般床（340床）と回復期病床（60床）を持つという特徴を持ち、急性期から回復期までを担当することができるので、症例や疾患に対してより深い理解を得ることができます。さらに当院が運営する訪問リハビリテーションや訪問看護ステーションと連携することで在宅医療にもかかわることが可能です。

また、回復期病床では連携パスを用いて、近隣病院からも積極的に患者受け入れを行っており、地域医療圏への貢献ができます。

扱う疾患は脳血管障害、骨関節疾患が全体の約8割を占めますが、心疾患や呼吸器疾患後の廃用なども多く、リハビリテーション科医師として経験しておくべき疾患のほとんどを取り扱うことができます。

遠州病院リハビリテーション科では前述のように、急性期から在宅まで扱うことができるため、患者の疾患だけでなく、社会的背景や生活環境といった部分にアプローチすることができ、全人的医療を実践するのに最適な環境です。

5) 静岡市立清水病院リハビリテーション科

〒424-8636 静岡市清水区宮加三 1231

TEL 054-336-1111 FAX 054-334-1173

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション施設基準（ ）

運動器リハビリテーション施設基準（ ）

呼吸器リハビリテーション施設基準（ ）

静岡県地域リハビリテーション支援センター

日本リハビリテーション医学会研修施設

日本静脈経腸栄養学会 NST 稼動認定施設

日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療法士教育認定施設

紹介

当院では、超急性期～急性期～回復期の脳卒中治療に即応するべく、回復期

リハビリ病棟を 2002 年 12 月 2 日に開設し、10 年以上が経過いたしました。総合病院内にある回復期リハビリ病棟は、静岡県内で 4 箇所しかありません。

また、当院は日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設認定病院でもあります。総合病院内にある回復期リハビリ病棟入院中に、転科転棟せざるを得ない症例が、約 8 % あります。全身管理を必要とする回復期リハビリ病棟入院中に、緊急を要する外科、循環器科、呼吸器科、消化器科、脳外科疾患の合併症に適切な判断が下せるように、希望者は、前記各科（外科、循環器科、呼吸器科、消化器科、脳外科）での研修も受けることが可能です。指導責任者もリハビリ科医師になる前、外科医歴 17 年であります。以下の特色があります。

第一は、リハビリ科医師 2 名（うち 1 名は、リハビリ科専門医、日本静脈経腸栄養学会 JSPEN 評議員）、神経内科医、脳外科医が、Nutrition Support Team : NST のメンバーとして、チームを組んで、サルコペニアのみられる急性期からの栄養に留意してリハを行うこと、リハスタッフ（PT、OT、ST）および口腔ケアを担当する歯科衛生士（DH）、看護スタッフが、一体となって包括的に治療にあたる体制を備えたことです。一人ひとりの患者さんに、相互の立場からより建設的な意見を出し合い、チーム医療を組む体制を整えました。

第二の特徴は、病気そのもの以外に、ICF : International classification of functioning, disability and health 国際生活機能分類 に基づき、患者さんの個人因子、介護できる家族構成等の環境因子、を重視して、入院リハを行っていることです。退院前に、必要に応じて、家屋調査に出かけることもあります。

少ない人数ながら、理学療法士・作業療法士が、交代で週末にもリハビリを最低 1 コマは、実施できるような体制を整えています。

第三の特徴は、リハビリ科医師 3 名（非常勤 1 名を含む）全員が、ボツリヌス毒素 A 施行資格を持って治療にあたっていることです。上肢、下肢の痙縮に対して、ボツリヌス毒素 A（ボトックス）治療の適応となる脳卒中患者さん、脊髄疾患患者さん等に対して、毎週、水曜日の午後 2 時～4 時まで、ボトックス外来として、リハビリ科医師が、ボトックス投与の適応の有無の評価、および適応のある方には、装具療法とも合わせた体制を整えました。以上のように、痙縮患者さんの受け入れに対応しています。

また、入院後については、2、3 日でもっとも適切と考えられる治療プログラムを作成すると同時にリハビリ科専門医が訓練プログラムを作成します。「脳卒中治療ネットワーク」をこの地域に築くことで、一人でも多くの患者さんによりよい姿で社会復帰していただけるような組織作りをしていきたいと考えて

います。このために、定期的な回復期リハ病棟スタッフ会議には、ソーシャルワーカーも参加しております。こうした意味で、我々はこれまでの単純な「脳卒中を治療する組織」という枠から大きく踏み出し、生活期にソフトランディングできる地域ぐるみで包括的に脳卒中の患者さんの治療にあたっていくための「コア」として機能することを目指し、その目的に適うような体制作りを進めてまいります。

6) 浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション科

〒433-8511 静岡県浜松市中区和合北1丁目6番1号

TEL 053-471-8331

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)

運動器リハビリテーション料(Ⅰ)

紹介

静岡県西部地区の回復期から維持期リハビリテーションの中核病院となるべく運営しています。現在は、一般病棟 135 床、回復期リハビリテーション病棟 90 床で運営しています。脳卒中リハ、嚥下障害、高次脳機能のリハビリテーションを中心に、大腿骨骨折（地域連携パス）を代表とする運動期リハビリテーションも行っています。えんげ声のセンター、スポーツ医学センターを有しており、また、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院とは運営母体が同じ聖隷福祉事業団であり、聖隷リハグループとして研修実施が可能です。

7) 浜松赤十字病院リハビリテーション科

〒434 8533 静岡県浜松市浜北区小林 1088 - 1

TEL 053-401-1111 FAX 053-401-1190

地域医療支援病院、第二次救急指定病院、基幹型臨床研修指定病院、

開放型病院、エイズ治療拠点病院、地域肝疾患診療連携拠点病院、

災害拠点病院（地域災害医療センター）

疾患別リハビリテーション料施設基準

脳血管疾患等リハビリテーション料

運動期リハビリテーション料

呼吸器リハビリテーション料

がん患者リハビリテーション

紹介

当科においては、脳血管障害、骨関節疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、外科・内科疾患等の廃用症候群のほかに、当院の創傷ケアセンターと血管外科からの切断症例など、幅広い疾患を数多く経験することができます。急性期のリハビリテーションを中心に診療を行っていますが、必要に応じて社会生活期の診療にも対応しています。

一般的なリハビリテーション医療として、訓練治療、義肢・装具療法、ボツリヌス療法、嚥下造影検査手技や電気生理学的検査手技（筋電図検査など）の研修と技術の習得が可能です。特に筋電図検査においては、整形外科疾患に限らず、神経変性疾患、筋疾患にも対応できる専門的な技術と能力の獲得を目標にしています。

8．研修期間

2年間の初期研修終了後3年間とする。

- 1．プログラム全体の研修期間は3年間（36ヶ月）
- 2．リハビリ科専門医かつ指導医の資格を持ったリハビリ科医師が指導にあたる。4年目にリハビリ科専門医試験を受験する。

9．プログラムの参加要件

- 1．初期臨床研修を修了
- 2．日本リハビリテーション医学会への加入
- 3．リハビリ科専門医資格の取得を目指す

選考方法については研修履歴、履歴書などの書類選考ならびに面接試験により採用を決定。

10．処遇

- 1．身分：原則常勤医員。浜松医科大学附属病院は医員
- 2．給与その他の雇用条件は各病院の就業規定に準拠

11．プログラム修了後の進路

プログラム修了後は直ちにリハビリ科専門医試験を受験します。リハビリ科専門医取得後の就職先は自由ですが、静岡県内の病院に重点的に斡旋します。

その際は、研修管理委員会で相談が可能です。また、大学にて研究、教育、診

療を行う、海外留学するなどの希望も可能な限り相談にのります。

12. プログラム運営委員会

プログラム管理

〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1 浜松医科大学附属病院リハビリテーション科 美津島隆

電話 053-545-2746 E-mail: mizusima@hama-med.ac.jp

リハビリテーション科専門医研修管理委員会

本研修プログラムが遅滞なく運用、管理できているかを適宜検討する。

- | | | |
|-------------------|-----|------|
| 1. 聖隷三方原病院 | 責任者 | 片桐伯真 |
| 2. 浜松労災病院 | 責任者 | 杉山宏行 |
| 3. JA厚生連遠州病院 | 責任者 | 入沢寛 |
| 4. 静岡市立清水病院 | 責任者 | 坂元隆一 |
| 5. 浜松市リハビリテーション病院 | 責任者 | 藤島一郎 |
| 6. 浜松赤十字病院 | 責任者 | 小川真司 |

13. その他

リハビリ科専門医の受験資格

- 1) 医師免許取得後5年以上及び本医学会加入後3年以上を経過していること
- 2) 本医学会の定めた専門医制度卒業研修カリキュラムに基づき本医学会が認定する研修施設において3年以上の研修を行ったものであること
- 3) 本医学会における主演者の学会抄録2篇を有すること
- 4) 前号(3)の2篇のうち1篇は、本医学会地方会における会誌掲載の学会抄録または地方会発行の発表証明書をもってこれに代えることができる
- 5) 自らリハビリテーションを担当した30症例の症例報告を提出すること
- 6) 自らリハビリテーションを担当した100症例のリストを提出すること